## ●第7回木の建築賞・大賞 未来を育む木造幼稚園

とともに、保育室を高窓からの明るいえて、子供たちを柔らかく受けとめるだしている。この外廊下の軒を低く抑側のような親しみやすい場所をつくり に配置 とがも 光で満たして に合わせて、保育室と遊戯示した優れた建築である。 室内と園庭を緩やかにつなぎ、縁 生活す 、その内側に外廊下を巡らせて、保育室と遊戯室をくの字れた建築である。敷地の形状とも適していることを端的に る空間 は、 木でつく るこ

14250

配置図兼1階平面図

5100

は、床を下っている。 い子る。 っている。その一方で保育室の一隅に簡素で伸びやかな木造空間が出来上がを活用したトラスを採用することで、 保育室と遊戯室の架構に杉の中小径木 供に落ち着いた居場所が用意されて げた小さなくぼみを設けて、

いきのようにこの幼稚園は、平面と架構がきめ細かく設計され、木造のもつ柔ら軟性がよく活かされ、スギのもつ柔らかさが子供たちを優しく包み込む空間が生まれている。また、地域産の木材を利用するために、伐採、製材、施工の協力体制を、設計監理を担当したビオハウスジャパン(前橋工科大学発ベンチャー企業)が調整役となって整備して、それが実現されている。以上のようにこの幼稚園は、これからの地域の公共木造施設づくりの模範とすべきの公共木造施設づくりの模範とすべきもして、木の建築大賞に値するもれます。 のである。(t (安藤邦廣/選考委員

家民境界線

子大学院準教授) · 応募責任者:石川口 恒夫 (前橋工科大



所在地:群馬県高崎市剣崎町

ことに加え、子どもたちと同じ大地から育った木の命と温もりを大切にしたかったからである。遊戯室や保育室にみられる3種類のトラスは、機能や子供の年齢に応じた空間をそれぞれ形成し、支える・支えられるという力の流れそれ自体が、教育的かつ美的価値をもつと考えた。太陽熱・井水・地熱による冷暖房/給湯システム(NEDO助成)、外廊下の緑化屋根、園庭のフロリカ成)、外廊下の緑化屋根、園庭のフローフォーム(水の彫刻)など、施設全体が環境教育のための楽器となる。幼体が環境教育のための楽器となる。幼体が環境教育のための楽器となる。幼体が環境教育のための楽器となる。幼体が環境教育のための楽器となる。幼体が環境教育のための楽器となる。幼体が環境教育のための楽器となる。幼体が環境教育のための楽器となる。幼体が環境教育のための楽器と同じ大地からいたちに加えている。 せたかったのである。せたかったのである。 た木造の園舎を目指した。法的規制をにらみつつ、環境本件は老朽化した園舎の改 地元群馬の県産材 るのは運搬/製造エネルギまかなった。無垢材を主に った木の命と温もりを大切にしたに加え、子どもたちと同じ大地かは運搬/製造エネルギーを鑑みたなった。無垢材を主に使用してい m の 木 5(主にスギ製材)で5の木材のほとんどを 環境と調和し 改築で その上で る。

築概要 来を育む木造幼

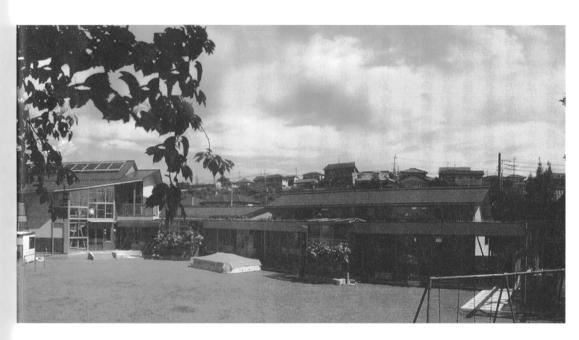
所在地 / 群馬県高崎市剣崎

用途 幼稚園

木造2階建て

96 面 規・積模 積 事期間/2009年9月 79 m² 階 5 計 6 8 5 2 6 m 8 8 m² 0 2 階

設年5月 准教授) 事務所 石川恒夫(前橋工科大学大学院 +ビオ・ハウス・ジャパン (石川恒夫+吉垣内英子) 級



道循境界條

前面道路



2層吹抜けで大空間を 可能と

PL-9 3-M16

M24 (TB付) HTB 2-M20 (PL-9x75) (JIS規格品)

PL-9 4-M16 4-M16

PL-6

#-#9\* か 15kN 用

<u>あーあす。</u> 15kN 用

T1トラス(遊戲室)

PL-9 4-M16

T2トラス(保育室1・2)

ト'リフトヒ'ン 告 I - M16 PL-6、 ト'リフト

T3トラス (保育室3・4)

F リフトセーン 1-M16 ホールタークン 15kN 用

2-N16 2-M16(釘打ち併用)

4-M16

詳細図







全体平面図



内部仕上げ 外部仕上げ が板15の上自然塗料塗り が板15の上自然塗料塗り

施 構工 造 一平澤建設

> (釘打無垢材集積パネ 珪藻土 天井/杉BS 土 天井/ 杉壁 杉

井 B / 12 の イスあらわ 上自然塗料塗り 床/杉板30 壁 杉板30 天P

遊舞遊木正幼多保前厨倉 以 関トト 室台室ル玄用的室室房室 以 制トト